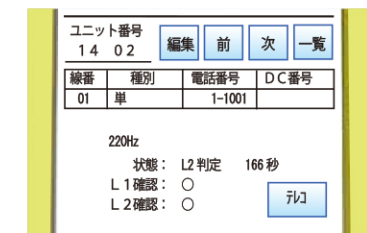


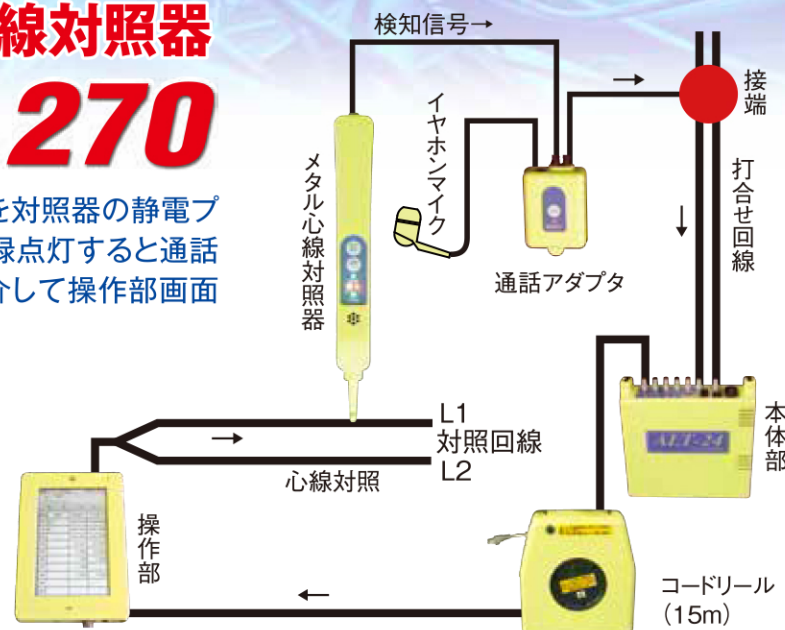
New!

ALT-24 メタル心線対照器 ALT-CI 270

操作部から送出された信号を対照器の静電プローブ、先端カギ内で受信。緑点灯すると通話アダプタから打合せ回線を介して操作部画面に○表示。



対照○+保存



ALT-24 標準構成 (新ノード対応、LTT機能無し)

品名	携帯型	局設置	
本体	1	1	簡易取扱説明書(1)、2mLANコード(1)、データ管理ソフト(1)、アース線(1)、ACコード(1)、R端子ジャンパ直流対照用接続コード1m(1)
操作部	1	1	イヤホンマイク(1)、リモート「次」スイッチ(1)、タッチペン(1)
コードリール	1	—	LANコード15m付
ALT-24 メタル心線対照器 ALT-CI 270	2	—	通話アダプタ(2)、急速充電器(2)、単3型ニッケル水素電池(4) イヤホンマイク(2)、直接対照用接続コード(2)
試験弾器接続用 コード	1	1	200U(1)、258(1)、256(1)、40A(1)、RSBM-F(1)、(全て切分けタイプ) クリップ付MJコード(外線用)(1)
アルミケース	1	—	
外部プザー	—	1	DC12V動作

*本体・操作部・コードリールには、各ベルト+フックが付帯します。
注:クリップ付MJコードは、R端子(MDF)及び空き回線の試験用です。

オプション

AMDF-ARR用接続コード、254用接続コード
局設置用LAN配線: 系統切替アダプタ(4系統)、終端デバイス、渡り配線用MJ、MJ付8心LANコード等の必要数 *1系統:最大40m

消費電流:AC100V最大0.4A(突入電流30A) 電源:AC100V±15V 50/60Hz
MDFジャンパ試験(電番捕捉):業務用PB発信回線が必要

【寸法・質量・材質】本体: 240x76x235mm 1300g ABS
操作部: 210x145x37mm 650g ABS
コードリール: 210x75x230mm 1350g ABS
メタル心線対照器: 219x29x31mm 75g ABS
通話アダプタ: 65x50x21mm 85g ABS
アルミケース: 350x268x282mm 4100g アルミ、木
メタル心線対照器: 防水性規格IPX1 準拠

*商品は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

TSC 高千穂産業株式会社

本社 〒462-0041 名古屋市北区浪打町1-44 ☎052-915-1111<代>

ホームページ <http://www.takachiho-sc.co.jp>

●お問い合わせ・ご注文は

東京支店 〒108-0014 東京都港区芝5-32-8 ☎03-3453-4778<代>
名古屋支店 〒462-0041 名古屋市北区浪打町1-44 ☎052-915-1111<代>
大阪支店 〒550-0012 大阪市西区立売堀2-1-11 ☎06-6536-1730<代>
岩倉工場 〒482-0041 岩倉市東町江東10-1 ☎0587-37-7771<代>

No.14.02.3000

新型タブレット端末
2014

ALT-24

操作部

高千穂オリジナル、新型タブレット端末です。

7インチ・カラーグラフィック液晶ディスプレイ

32ビットCPUを搭載。



本体部と操作部、補助のコードリール、メタル心線対照器から構成される回線試験と心線対照を組み合わせたシステムです。

100%の確実性を求めた新型メタル心線対照器を開発しました。対照結果を打合せ回線を介して操作部画面に表示し記録するシステムを考案しました。

局内設置のALT-23の後継機種として使用出来ます。操作部のタブレット端末のみをMDF試験箇所に手軽に持ち運び、試験出来る様に開発しました。(LAN配線は従来通り必要です。)

自動メタル回線試験システム

ALT-24
メタル心線対照器
ALT-CI 270



本体部



コードリール(15m)

TSC 高千穂産業株式会社

ホームページ <http://www.takachiho-sc.co.jp>

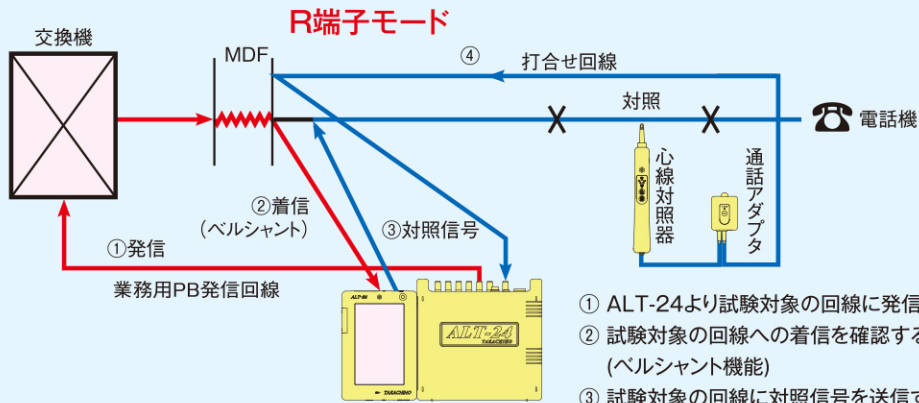
標準試験

①試験弾器/ TSが切分け可能な場合	アナログ回線：ジャンパ、測定(絶縁抵抗・容量・DC電圧)、呼出、心線対照、抵抗容量、ループ抵抗、ARR-R端子間ジャンパ確認、6SUB-PT検出、通話 ISDN回線：ジャンパ、回線媒体(絶縁抵抗・容量・DC・AC)試験、心線対照、呼出(課金有り)、抵抗容量、ARR-R端子間ジャンパ確認
②R端子など 切分け不可能な場合:	アナログ回線：ジャンパ、心線対照(空回線を含む)、空回線のみ測定可能 ISDN回線：心線対照

回線確認方法

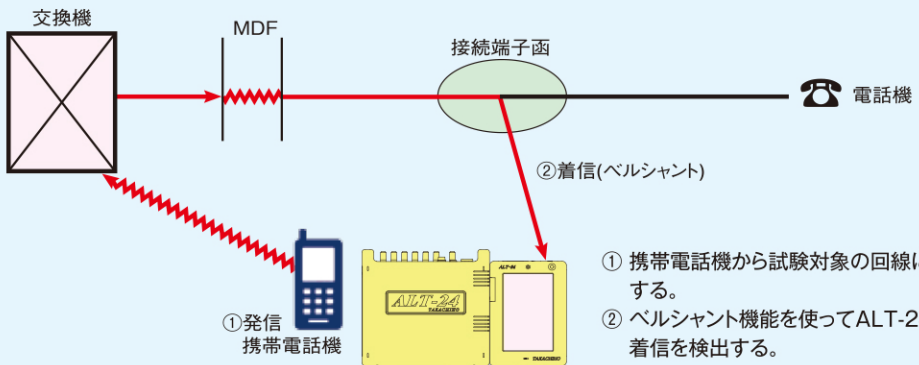
アナログ一般回線+ADSL (Type 1)

2人作業



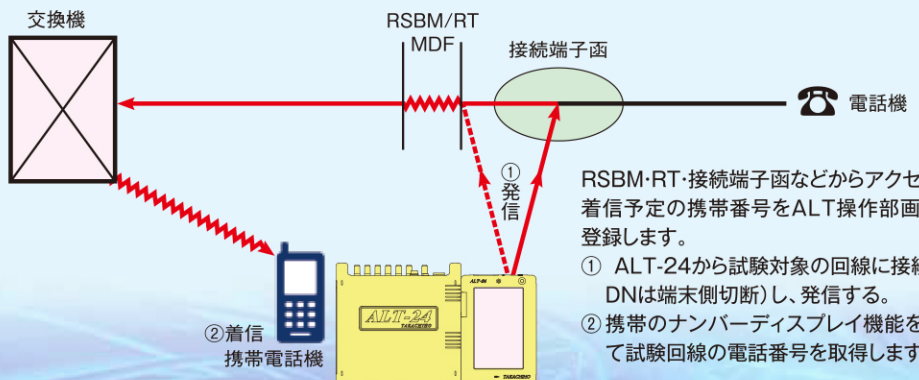
- ALT-24より試験対象の回線に発信する。
- 試験対象の回線への着信を確認する。(ベルシャント機能)
- 試験対象の回線に対照信号を送信する。
- L1L2の対照結果を打合せ回線経由でALT-24へ送る。

1人作業



- 携帯電話機から試験対象の回線に発信する。
- ベルシャント機能を使ってALT-24で着信を検出する。

1人作業 電番リスト作成

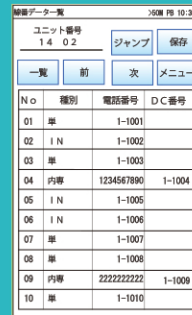


- RSBM・RT・接続端子函などからアクセス。着信予定の携帯番号をALT操作部画面に登録します。
- ALT-24から試験対象の回線に接続(ISDNは端末側切断)し、発信する。
 - 携帯のナンバーディスプレイ機能を使って試験回線の電話番号を取得します。

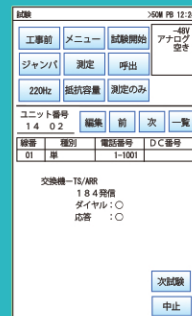
画面表示例



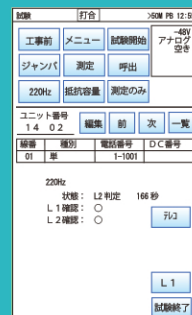
ID・パスワード入力



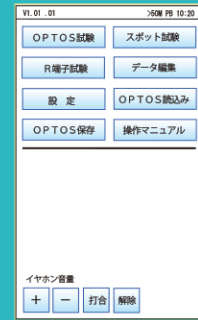
OPTOS試験 試験メニュー



OPTOS試験 測定試験実行



OPTOS試験 心線対照実行



TOPメニュー



OPTOS試験 試験メニュー



OPTOS試験 測定試験実行



OPTOS試験 試験結果

ALT-24の機能

誤接続防止の新機能:

100%の確実性を追求した心線対照システム
メタル心線対照器+ 打合回線+ALT-24機器

柱上・地下を目的とした非接触・静電誘導対照。心線対照OK信号を打合回線を介して操作部画面に○表示し、ログ保存。
地下を目的とした直接・交流対照機能とログ保存及び心線の探りモード機能を対照器に付加。

柱上の一人作業(携帯発信)
携帯電話から試験回線の電番に発信してALT-24で着信を検出するジャンパ試験。電番保存は手入力。(お客様の電話機を鳴動させずにベルシャント機能を使ってALTに着信)

RSBM-RT・柱上の一人作業(携帯着信)
電話番号取得・電番リストの作成。携帯番号をALT操作部画面に登録し、試験回線に接続(ISDNは端末側切断)し、交換機側にALTから発信します。携帯のナンバーディスプレイ機能を使って試験回線の電話番号を取得します。電番保存は手入力。

回線測定のしきい値判別
メタル切替工事の工事前の回線測定結果を保存し、工事後の測定値が予め設定されたしきい値を超えているか否かの判断を行ない、表示します。

抵抗容量測定試験の継続化
下部延ばし等のループ試験を打合せをしながら何回も継続して行なえる様にしました。

下部延ばし(一人作業)
所外で回線をループするとALTの送出・確認音をプレストで検出。複数回線のマルチ送出が可能。

ALT-24 回線試験:

試験回線状態を常時表示
操作部右上に線間電圧、種別(アナログ・ISDN・ADSL・空き/専用線)と使用中を判別し表示。

試験回線種別の自動認知システム
表示された種別に沿って試験開始。(試験種別の選択を不要に)

空き回線のキャリア確認
線間電圧0~5 V間でキャリア確認出来ます。

ジャンパ試験(面チェック作業)
発信回線より電番を発信し、試験弾器で着信信号を受信。R端子もベルシャント機能を使って着信信号を受信。結果を記憶します。

トーカー確認
着信×の場合、10秒間、音声ガイダンス案内を聞き、(通停、AIS、NU、受話器上げ、ISDN、話中、絶縁不良、その他)から選択し記録する。

#テスト
試験電番の頭に#を付加してダイヤルし音声案内を聞く事ができます。

ARR-R端子間のジャンパ試験
DC5Vの直流信号でARR線路側とR端子間の接続(正常・逆・無接続)確認を行ないます。

空き回線の「6PT+C付MJあり」
設定の測定速度を「遅い」に設定した場合、4km位までの範囲で、「C付MJあり」、「6PTあり」、「C付MJ+6PTあり」を判定し表示します。

回線測定
DC電圧、絶縁抵抗、容量の測定を行ない、試験結果を記憶します。
一画面に工事前後の測定結果を一括表示します。

加入者呼出
5~10、15、20コールの選択を可能にしました。ISDN回線の呼出(課金有り)も可能です。

通話試験
加入者との通話が可能です。(TCO 機能付)

対照信号送信
対照信号送出後、L1 1またはL2が対照状態になります。メタル心線対照器側を呼出しする機能が有ります。

抵抗容量測定
ループ抵抗及び容量の測定をします。ループ中も打合せ回線を使って打合せが可能です。

メタル心線対照器:

メタル心線対照器
静電検知方式でALT-24 から送出される信号を検出し、ランプ表示とブザー音を発します。

探りモード機能
対照器の静電プローブ全体で信号を検出します。

通話アダプタ
ALT-24本体の打合せ回線端子と接続して通話が出来ます。更に、対照器を常時接続する事で、対照結果をトーン信号で本体に通知します。
打合せ回線の電圧極性の表示と局内呼出機能が有ります。

外部端子
直接対照用コードを接続します。交流対照が可能になり、対照結果がALT 内に保存されます。

その他:

パソコンソフト
Windows パソコン用ソフトで、線対簿ファイル「OPTOS」を読み、USBメモリに転送データを作成し、ALT-24 に転送する。

試験成績表の新旧様式
従来のし点方式の成績表と測定値が記載される新様式の成績表から選択できます。

ALT-23成績表をALT-24に変換
ALT-23の保存データをPCソフトでALT-24用データに書換えし、ALT-24に表示可能です。

USBデータの暗号化
USBデータ及びALT-24保存データの暗号化を実現しました。

OPTOSデータ
電番・線番・DC番号・使用区分(空き、単、IN、内専、外専、保H、単1G等)をデータとして読み込みます。

最大読み込み件数
100ユニット(10,000 回線)

OPTOS試験
OPTOSデータに基づいたユニット(100回線)単位の試験。ALT-24 操作部表示は10回線単位。

データ編集
線番データの編集機能を付加しました。

試験データ保存
OPTOS試験及びR 端子試験の試験結果は自動的にALT-24 内に保存(記憶)されます。

測定データの最大保存回線数
100ユニット(10,000 回線)

ユーザーIDとパスワード(PW)
必須です。使用開始時のみ入力。最大100件。

ログファイル
年月日・開始時刻・ユーザーIDを記憶します。

バージョンアップ
操作部・本体・操作マニュアルのバージョンアップは、USB メモリから実施します。

ALT-24操作部
7型カラーグラフィック液晶・タッチパネル入力。OSはトッパーズ(リアルタイムOS)。

32bit CPU。USB2.0用ポート。CAN 対応。画面用「次」スイッチ接続用端子。

イヤホン端子、マイク・スピーカ付、操作マニュアル内蔵、他。

局内設置用ALT-24 システム:
局内LAN配線
ALT本体を4系統切替アダプタに接続します。切替アダプタに各系統のLAN配線を接続します。

1系統はLANケーブル最大40m+終端デバイスから構成され、各渡り配線用MJからMJ付LANコードをMDF に垂らします。

操作部のみ持ち歩き試験
回線試験を行なう操作部を持ち歩き、必要箇所にてMJ付LANコードに接続しスポット試験を行ないます。操作部にはストラップ・ベルト及びフックが付いています。